第6号　発行日　令和2年8月24日
青森県立弘前南高等学校サイエンス

弘前南 SSH 通信　CELESTE

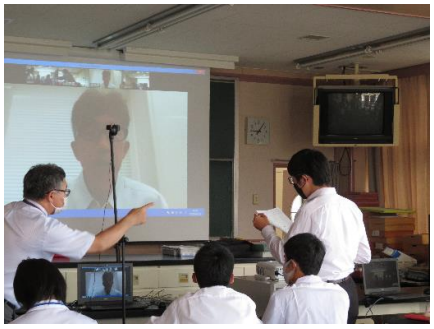
◇3ER 実地研修

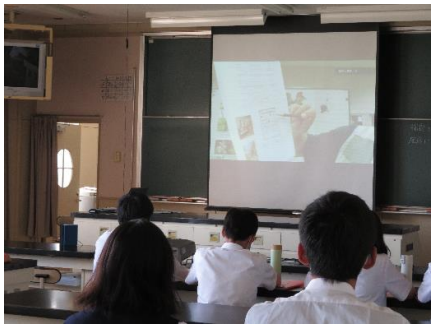
7月29日（水）　対象：1年次生全員　場所：物理・化学・生物・地学実験室、会議室

7月29日（水）本校理科実験室と会議室を利用して、3ER 実地研修を行いました。例年は各事業所に訪問して、施設見学を行い、直接担当者とお会いして研究分野に関する理解を深めていましたが、今年はコロナウィルス感染防止の観点から、各事業所に協力していただきオンラインまたは来校しての講義をしていただきました。事前に班ごとに質問を提出させていたので、質疑応答が活発になった部門もありましたが、講師から「マスクで表情が見えない」という問題もありました。

【協力してくださった事業所】

分　野	事　　業　　所
エネルギー	青森工業総合研究所
	津軽バイオマスエナジー
	日本原燃サイクル情報センター
	国際核融合エネルギー研究センター
生態系	青森地方気象台
	白神山地ビジターセンター
	弘大白神自然環境研究センター
	久渡寺ビジターセンター
産業	水産総合研究所
	りんご研究所
	農林総合研究所
	野菜研究所
	弘前工業研究所





◇SSH生徒研究発表会（全国大会）

7月29日（水）　対象：3年次 SSH クラス生

例年であれば，兵庫県の神戸国際展示場において2泊3日で行われるSSH生徒研究発表会ですが，今年度は新型コロナ対応のため，ポスター及び説明動画を送付して1次審査を受ける形で実施されました。応募したのは，5班（川村幸ノ介君，尾崎弥翔君，外崎奎奈さん，田中風香さん）による「プラナリアの自切について」です。班員はポスターの内容や発表原稿を練り直し，何度も発表練習をして録画に臨みましたが，残念ながら2次審査に進むことはできませんでした。

◇地域の食と生活に関する講義

7月27日（月）　対象：1年次生全員　場所：第2体育館

7月 27 日（月）第2体育館において、1年次生を対象に、『「1日1個のリンゴで医者いらず」を科学する』という演題で、青森県立保健大学　准教授　井澤　弘美先生に講義していただきました。「リンゴは体に良い」と健康情報がメディアで紹介されているが、その研究方法が信頼できるものかどうか吟味する必要があり、リンゴに含まれる栄養素には、どのような病気の予防効果があるのかや、特定の人間集団に毎日リンゴを摂取させ、出現する病気や血圧低下などを調査するリンゴの効能を確認する「疫学研究」など、リンゴの効能を解説し、リンゴの栄養と機能性について具体例をあげて講義していただきました。生徒たちは、蒸し暑い中集中してメモをとり、講義を受けていました。講義を聴くことで、食と生活への興味や関心が増したようです。